

平成30年度大阪府図書館司書セミナー実施要項

- 1 趣 旨 生涯学習社会の構築に向け、その中核施設である図書館の充実を図るため、また、図書館で働く司書・司書補がその専門性を深め、より一層の資質向上を目指すために実施するものである。あわせて図書館ボランティア等へも研修の機会を提供する。
- 2 主 催 大阪府教育庁
- 3 主 管 大阪府立中央図書館
- 4 対 象 府及び市町村立図書館に勤務する司書・司書補、学校図書館司書、司書教諭、その他図書館ボランティア等、私立学校図書館の職員
- 5 定 員 70名（先着順。参加決定の通知はいたしません。
※第2回のみ40名で各自治体、各校1名まで。定員を超えた場合は抽選します。）
- 6 会 場 大阪府立中央図書館 大会議室
- 7 実施期間 平成30年9月6日（木）～平成30年11月21日（水）
- 8 参加申込締め切り 平成30年8月31日（金）
- 9 参加申込先 大阪府立中央図書館 協力振興課
FAX 06-6745-9232（協力振興課直通）
E-mail kikaku@library.pref.osaka.jp
障がい等の状況により、配慮が必要な方は申込時にお知らせください。

10 内 容

日程	テーマ	講師
第1回 9月6日（木） 13：30-15：45	〔総論〕人にとっての読書～児童自立支援施設・児童相談所・矯正施設への読書活動の支援から～	正井さゆり氏（広島県立図書館事業課長）
	人はなぜ、読書をするのか。本との出会いは、人にどのような影響を与えるのか。施設にいる子どもに対する読書活動の支援について、広島県立図書館の実践事例を聞き、読書の可能性について考えます。	
研修終了後に地下書庫見学とおひとついかがですか（※）を予定しています。		
第2回 10月12日（金） 13：30-16：00	〔補修〕図書館資料の修理	板倉正子氏（NPO 法人 書物の歴史と保存修復に関する研究会代表理事）
	読んでもらいたいけど、読めばいたんでしまう図書館の本。修理をしてたくさんの人に手にとってもらい長く保存していきたいものです。『図書の修理とらの巻』の監修者の板倉氏に、図書館の絵本など資料の修理を実践的に学びます。	
研修終了後に地下書庫見学を予定しています。		
第3回 10月25日（木） 13：30-16：00	【情報提供】大阪府の子ども読書活動推進について	佐伯穂高（大阪府教育庁市町村教育室地域教育振興課社会教育主事）
	〔児童サービス〕子どもの空想世界に対する認識について	富田昌平氏（三重大学教授）
	発達段階に合わせた読書の必要性が言われています。空想世界に対する子どもたちの認識の発達モデルを示した富田氏は、絵本などを活用して空想世界と現実世界の各領域を明確にすることが正しいといえます。児童サービスにおいて、空想世界と現実世界を区別する際の配慮や図書館員の働きかけとは何かを話していただきます。	
研修終了後に地下書庫見学とおひとついかがですかを予定しています。		
第4回 11月9日（金） 13：30-16：00	〔障がい者サービス〕図書館における知的障がいのある人への合理的配慮の取り組みや接遇	藤澤和子氏（大和大学教授）
	多くの人に開かれている図書館で、知的な障がいのある人が安心して利用するために図書館ができることとは、図書館員の取り組みや接遇を中心にお話しいただきます。	
研修終了後に地下書庫見学を予定しています。		
第5回 11月21日（水） 13：30-15：30	〔出版〕大学出版会の可能性とは—社会と大学をつなぐこと—	土橋由明氏（大阪大学出版会事務局長）
	社会と大学のあいだを結び付ける大学出版会の役割はどのようなものがあるのでしょうか。さまざまなイベントや企画を通して、社会（読者）と大学（著者）の懸け橋となってきた当会の事例を紹介しながら、図書館との協働についても一緒に考えます。	
研修終了後に地下書庫見学とおひとついかがですかを予定しています。		

※「おひとついかがですか」は当館で受け入れなかった資料を公共図書館や学校図書館にお譲りするものです。

平成 30 年度 大阪府図書館司書セミナー 参加申込書

参加申込先

大阪府立中央図書館 協力振興課

FAX 06-6745-9232 (協力振興課直通)

E-mail kikaku@library.pref.osaka.jp

参加者名	第 1 回 9 月 6 日 (木)	
	第 2 回 10 月 12 日 (金)	第 2 回のみ定員は 40 名。各自治体、各校 1 名までの申し込みとなります。
	第 3 回 10 月 25 日 (木)	
	第 4 回 11 月 9 日 (金)	
	第 5 回 11 月 21 日 (水)	

お名前はフルネーム (ふりがな) でご記入願います。

※分館名等もわかるようにご記入願います。

お名前の記入例：

おおさか たろう

なにわ はなこ

大阪太郎 (〇〇市立北図書館)、難波花子 (〇〇市立南図書館)